

令和5年度 江戸川区立第二葛西小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	じょうぶな子 思いやりのある子 考える子 やりぬく子 *重点:自ら進んで取り組む	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	保護者・地域の理解と協力を得て、子どもたちに確かな力を育み、信頼と誇りのもてる学校 自分から進んで確かな学力、豊かな心、健やかな身体を身に付け高めようとする子ども より質の高い授業、教育活動をめざし、子どもに寄り添い、子どもの喜びや悲しみを自分の喜びや悲しみにできる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>・感染症に配慮しつつ、教育活動、学校行事を展開することができた。・安心で安全な学校づくりに向けた取組を進めることができた。・積極的な情報発信に努めることができた。 ・教職員が連携・協力しながら教育活動、学校運営を展開することができた。 <課題>・一人一人の課題に応じて基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組を充実させる。・一人一台のタブレット端末をさらに有効に活用できるようにしていく。 ・不登校や配慮が必要な児童等への対応をより一層組織的に取り組んでいく。・学校と家庭との連携・協働をより一層推進する。・教職員の働き方改革、校務の効率化をより一層推進する。		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	年度末に向けた改善策
				取組	成果		
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に對しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・週1回の全校一斉朝学習の実施 ・学校と民間による放課後補習の実施 ・5,6年社会、理科での教科担任制や各学年での交換授業等の実施 ・低学年からの学習習慣の確立と基礎学力の系統的な育成をめざした取組の推進	・学力を高めようとしているという児童90%以上 ・基礎的な力を身に付けているという保護者85%以上 ・学力向上の活動が充実しているという教員85%以上	A	B	B	・朝学習、放課後補習、教科担任制、交換授業などをさらに推進する。 ・児童数、学級数の増加に伴い、円滑に教育活動が展開できるよう工夫、配慮を進める。
	<読書書の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・学校図書館データベースによる指導を取り入れた「調べる学習」の実施 ・朝読書及び毎週30分間の読書活動の実施 ・地域図書館との連携の充実	・本をよく読むという児童70%以上 ・子どもは本に親んでいるという保護者60%以上 ・読書科が計画的に行われているという教員80%以上	B	C	B	・スマートフォンによる指導を継続し、調べる学習を定着させる。 ・図書館活用の機会を拡充し、本に親しむ活動の充実を進める。
	<ICT機器を活用した教育活動の充実> ・タブレット端末を活用した授業の充実 ・校務の効率化の推進	・タブレット端末を活用した指導事例の蓄積及び整理 ・タブレット活用スキルの育成 ・タブレット活用ルールに基づく情報モラルの育成 ・校務の一層の効率化、ペーパーレス化の推進	・タブレットを使った学習が楽しいという児童90%以上 ・タブレット端末の活用が進められているという保護者80%以上 ・ICTを活用した授業が行われているという教員90%以上	A	B	B	・家庭での利用についてさまざまな意見があると聞く。学校で機械的に制限することは難しいと思うが、利用方法、情報モラルなどについても意識を高めてほしい。 ・タブレットの活用をさらに進め、個別の線の充実などにつなげていく。学習の履歴の活用などを試みていく。 ・校務の効率化、ペーパーレス化を引き続き推進する。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・運動意欲の向上や健康の推進に向けた取組の実施・改善・充実	・毎週30分間の全校運動遊び及び元氣アップタイムの実施 ・学校隣接の公園を活用した遊び場の拡充 ・アスリートによる授業やバラスポーツ体験の実施	・体力を高めようとしているという児童90%以上 ・子どもはよく身体を動かしているという保護者60%以上 ・体力向上に向けた活動が充実しているという教員85%以上	B	B	B	・児童数が1000人近い状況で、学校のみでの運動の機会を充実させたり、体力を高めたということは難しいのではないかと、家庭や地域との連携も進めようとする。 ・保健指導、歯の健康にかかわる取組などを充実させていく。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・おおぞら学級での指導の充実 ・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、エンカレッジルームの活用、日本語指導員や日本語教室との連携 ・副籍交流及び通常の学級と特別支援学級の交流の充実	・配慮を要する児童への支援が適切だという教員80%以上 ・スクールカウンセラーが効果的に活用されているという教員85%以上	A	B	B	・おおぞら学級で教職員が連携して充実した教育活動を進めた。 ・関係教職員が連携し、児童の支援を進めた。 ・配慮を要する児童への支援が適切だという教員は77% ・スクールカウンセラーが効果的に活用されているという教員は89%
共生社会の実現に向けた教育の推進	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・QUTテストや各種アンケートによる児童の実態把握とそれに基づく指導の推進 ・友だちのよさを見つけたる取組の推進 ・低学年からの基本的な生活習慣の系統的な育成をめざした取組の推進 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	・進んであいさつをしているという児童85%以上 ・子どもは約束やまきまを守って生活しているという保護者85%以上 ・いじめや不登校解消に向けた取組が組織的に進められているという教員95%以上	B	B	B	・不登校の子どもたちが増えていると聞く。保護者の考え方も多様になってきているものを感じる。 ・元氣なあいさつが聞かれるような活気のある学校であり続けてほしい。 ・スクールカウンセラーなどの連携を強化する。
	<豊かな心の育成> ・特別活動や道徳を中心とした豊かな心の育成の推進	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実 ・展覧会の実施などによる豊かな感性、情操の育成	・当番や係をしっかりとやっているという児童90%以上 ・子どもは友人関係が良好であるという保護者90%以上	A	A	A	・子どもたちの心を育てることが基本中の基本である。自分の役割を果たすような経験を重ねるなどしてほしい。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校のホームページの毎日の更新 ・年3回の土曜参観の実施	・学校の様子がわかりやすく伝えられているという保護者90%以上	A	A	A	・ホームページを毎日複数回更新していただくなどでもよい取組である。引き続き発信を充実してほしい。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評価の一環として行う児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施 ・運動会等の行事への保護者アンケートの実施と公開	・保護者アンケートの回答率80%以上	A	B	A	・保護者、地域の声を受け止めながら学校運営、教育活動を進めているとらえている。引き続き率直な声を聞いてほしい。
	<安心・安全な学校づくりの推進> ・自分の身体、命を自分で守る力の育成	・さまざまな災害を想定した訓練の実施 ・警察等と連携した交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室などの推進	・健康や安全に気を付けて生活しているという児童90%以上 ・防災、防犯、交通安全の取組が適切に行われているという教員95%以上	A	A	A	・学校の防犯・防災とともに、地域の防災拠点としての機能も充実していく必要がある。行政や地域との連携が重要である。
	<家庭、地域とともに子どもを育てる教育の推進> ・幼稚園、保育園、中学校等との連携の充実 ・PTAやおやの会によるイベントの再開・充実 ・地域を愛する心の育成	・幼稚園、保育園、中学校との多様な交流の拡充 ・ふるさと葛西、江戸川区について学ぶ機会の充実 ・PTAやおやの会によるイベントの再開・充実 ・地域を愛する心の育成	・行事が適切に進められているという保護者95%以上 ・地域について学ぶ機会が充実しているという教員80%以上	A	A	A	・地域の幼稚園や中学校とさまざまな形で交流していることでもよいことである。地域の方々からの学校への期待も高まっていくと思われる。 ・PTA、おやの会も活用してほしい。
特色ある教育の展開	<働き方改革の推進> ・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・月2回の定時退勤日の設定 ・会議等の効率化、組織改革の一層の推進 ・ペーパーレス化の一層の推進	・全教職員の月残業時間55時間以下 ・時間外勤務の削減に努めているという教員80%以上	A	B	A	・教職員が心身ともに健康で教育活動、学校運営にあたるよう取り組んでいく。 ・業務の効率化をさらに取り組んでいくとともに、時間外勤務の削減をさらに推進していく。
	<教員の資質・能力の向上> ・教員研修の充実	・一人一人の教職員のニーズに応じた研究・研修の推進 ・若手教員の組織的な育成	・全教員の年2回の授業公開の実施 ・資質・能力の向上に努めているという教員80%以上	A	B	A	・若い教職員が増えている中、その育成は大変だと思うがよろしくお願ひしたい。 ・教職員間での授業公開、協議の場などをさらに充実させていく。 ・若手教員の育成を充実させる。